



イベント案内

studio

創作コーナー

7月中旬～8月



R7年度の様子

展覧会鑑賞後に工作したり絵を描いたりできるコーナーを開設します。

- 当日受付
- 参加無料

work shop

本のワークショップ

9月中旬の2日間



R6年度の完成作

造本作家に教わりながら、本格的な手製本で自分だけの一冊をつくります。

- 事前申込み (8月頃募集、抽選)
- 材料費要

work shop

多世代交流ワークショップ

11月中旬～1月頃



R7年度の様子

参加者が協力して、記号で表現する絵本を制作した後、鑑賞を行っている様子です。

- 事前申込み (抽選)
- 参加無料

詳細はチラシやホームページでお知らせします



うらびい

利用案内

(詳しくはお問い合わせください)

- 開館時間
午前10時～午後5時、金曜日・土曜日のみ～午後8時
展示室への入室は閉館30分前まで
展覧会によって異なる場合があります
- 休館日
月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌平日)、展示替え期間、休館期間
その他、臨時に休館することがあります
- 観覧料
展覧会によって異なります
・20名以上は団体割引
・障害者手帳をお持ちの方および付添いの方1名は半額
・観覧済の有料観覧券の提示により、リピーター割引 (団体料金。観覧日から1年以内、1名様、1回限り有効)
・教育課程に基づく学習活動の減免についてはお問い合わせください

交通案内

- 電車利用
JR京浜東北線、高崎線、宇都宮線、湘南新宿ライン、上野東京ラインで浦和駅下車。西口から徒歩7分
- 車利用
東北自動車道 (浦和出口から9km)、首都高5号池袋線・埼玉大宮線 (浦和南出口から4km)、外環自動車道 (三郷方面より外環浦和出口から5km、大泉方面より戸田西出口から7km)
当ビル地下の公営駐車場 (有料) をご利用ください

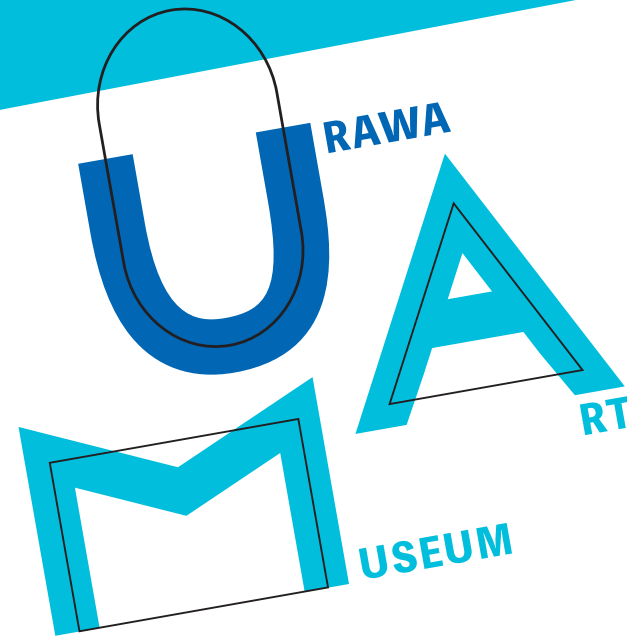
Information

Museum Hours: 10:00 am-5:00 pm
(Open until 8:00 pm on Fridays and Saturdays)
* Final admission: 30 minutes before closing
Closed: Mondays (in case of holiday, next weekday), Exhibition preparation periods, Temporary closure period
Admission Fees: Special exhibitions; Different for each exhibition
Address: Urawa Century City 3F, 2-5-1 Naka-cho, Urawa-ku, Saitama-shi, Saitama, Japan 330-0062
Telephone: +81-(0)48-827-3215 **Fax:** +81-(0)48-834-4327



〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-5-1 浦和センチュリーシティ3F
TEL 048-827-3215
FAX 048-834-4327
URL <https://www.city.saitama.lg.jp/urawa-art-museum/>
e-mail urawa-art-museum@city.saitama.lg.jp
※掲載内容は都合により変更になることがあります。予めご了承ください。

令和8年3月 うらわ美術館発行
この印刷物は11,000部作成し、1部当たりの印刷費は33円(概算)です。



令和8年度 うらわ美術館 展覧会スケジュール
EXHIBITION SCHEDULE

2026.4 » 2027.3



年間スケジュール

2026	4	4.18 ▶ 6.21	
	4	ギャラリーABC	
	5	とっておきをひらく —さいたまをめぐる美術	
	6	ギャラリーB コレクションによるテーマ展 「瑛九」誕生の頃 —山田光春との交流から	
	7	7.11 ▶ 8.30	
	7	ギャラリーABC Ukiyo-e 猫百科 ごろごろまるまる ネコづくし	イベント 7月中旬～8月 ギャラリーD Ukiyo-e 猫百科 ごろごろまるまる ネコづくし関連事業 創作コーナー
	8		
	9	展示室貸出期間 (教育利用・市主催)	イベント 9月中旬の2日間 ギャラリーD 本のワークショップ
	10		
	11		
		11.14 ▶ 1.17	
	12	ギャラリーABC エコーズ・ ビトゥイーン —ブック・アート という実践 (仮)	イベント 多世代交流 ワークショップ (予定)
2027	1		
	2	展示室貸出期間 (教育利用・市主催・一般利用)	
	3		

4.18.sat » 6.21.sun

とっておきをひらく —さいたまをめぐる美術

Opening Hidden Collections
—Exploring Saitama City Through Art

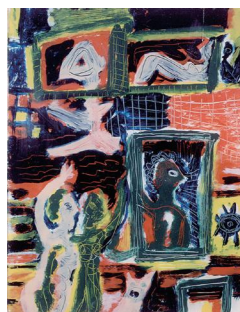
うらわ美術館の周辺地域は、かつて多くの芸術家たちが暮らした土地として知られています。本展では、そうした芸術家たちを身近で支え、作品を大切に守り伝えてきた人々や企業のまなざしに光を当てます。個人宅や企業、公共施設で静かに受け継がれてきた“とっておき”の作品を、当館収蔵品を織り交ぜて紹介します。このまちで育まれてきた美術の姿を、あらためて見つめる展覧会です。

ギャラリー ABC



寺内萬治郎《画家〇君の像》1946年 うらわ美術館蔵

ギャラリー B(部分)



瑛九《緑の窓による鳥の人物の横顔》(制作年不明)
油彩、ガラス うらわ美術館蔵



山田光春 (タイトル、制作年不明) 油彩、ガラス
うらわ美術館蔵

コレクションによるテーマ展 「瑛九」誕生の頃 —山田光春との交流から

Focusing on UAM Collection ;
At the Beginning of 'Ei Q': Through the Exchanges With Koshun Yamada

戦前から戦後にかけて、油彩や写真、版画、執筆や普及活動など、様々な領域で活躍し日本の前衛美術を切り拓いた瑛九(本名・杉田秀夫。1911-1960)。宮崎で生まれ、1951年に浦和(現・さいたま市)へ転居し、48年の生涯を駆け抜けました。その足跡は、愛知出身の画家、山田光春(1912-1981)による詳細な伝記を通して知ることができます。山田は美術教師として赴任した宮崎で瑛九と出会って以降、二人は互いに刺激し合いながら制作を重ねました。本展では、杉田秀夫が「瑛九」の名で注目を浴びることになった1936年に着目し、その前後の二人の作品資料を通して交流の足跡を探り、当館コレクションを中心に、未公開作品を含めてご紹介します。

7.11.sat » 8.30.sun

Ukiyo-e 猫百科 ごろごろまるまるネコづくし

The World of Ukiyo-e Cats: Purrfectly Curled up Neko

私たちの生活にすっかり定着した猫人気ですが、猫を飼うことが一般化したとされる江戸の人たちも、猫に特別な関心を寄せていました。大の猫好きで知られる歌川国芳をはじめ、多くの絵師たちが様々な猫の姿を描いています。本展では、30人を超える絵師らによって描かれた浮世絵など約150点を展覧します。猫の生態や人々との関わり、役者絵や化け猫など、表現豊かな猫の世界を子どもから大人まで存分にお楽しみいただけます。あわせて、猫が登場する挿絵も当館収蔵品より紹介します。

ギャラリー ABC



歌川広重《名所江戸百景 浅草田圃西の町詣》
安政4(1857)年 渡邊木版美術画舗蔵



歌川国芳《猫の当字 かつを》
天保13(1842)年頃 個人蔵

11.14.sat » 2027.1.17.sun

エコーズ・ビトゥイーン —ブック・アートという実践(仮)

Touching Another Mode
—Book Art as Practice (Tentative title)

現代美術において、多くのアーティストが本の特長や可能性に惹かれ、ブック・アートに関わる作品を生み出してきました。本展では、絵画、彫刻、写真、パフォーマンスなど多様な分野で、日本、ドイツ、スイスを拠点に活動する9人のアーティストが、それぞれの視点からブック・アートに向き合い、新たな表現に挑戦します。当館の収蔵品を起点に、作家たちの実践を通して、ブック・アートの多様な可能性を紹介します。

ギャラリー ABC



アンゼラム・キーファー《イヌサフラン》
1997年 写真、砂、厚紙 うらわ美術館蔵
©Anselm Kiefer



同作品部分

展示室貸出

教育利用展示室貸出(9月中旬、2027年1月下旬~2月中旬)、市主催展示室貸出、一般利用貸出(2月下旬~3月)の予定です。

※上記予定は都合により変更になることがあります。予めご了承ください。